



松井久子監督の第三作・日米合作映画「レオニー」を応援しよう！  
 第一作 映画『ユキエ』上映&トーク  
 松井久子監督 in おかやま

日時 3月13日(土) 13時30分～16時30分  
 会場 岡山市デジタルミュージアム4F研修室  
 内容 第一部 松井久子監督作品・映画「ユキエ」上映  
 第二部 松井久子監督トーク「『レオニー』と私」(仮題)  
 参加費 500円(当日800円)

～ご案内～

松井久子監督は、映画「ユキエ」で映画監督デビュー。第二作「折り梅」とともに、圧倒的な共鳴と支持を得ています。そして、今回の第三作は、彫刻家イサムノグチの母、アメリカ人女性レオニー・ギルモアの生涯を描いています。スケールの大きな、本格的な日米合作映画で、今年の公開が待たれています。

私たちは、この映画「レオニー」を一人でも多くの方に観ていただきたくて、今回標記の催しを計画しました。松井監督の第一作・映画「ユキエ」を見た後に、松井監督の「レオニー」にかける思いを語っていただく予定としています。

たくさんの方々に参加していただき、松井久子監督の世界を楽しんでいただきたいと考えます。ご参加をお待ちしています。

第一作『ユキエ』

アメリカ南部ルイジアナ州、バトンルージュ。ユキエが戦争花嫁として海を渡ってこの町へやって来てから、いつの間にか40余年が過ぎていた…。ユキエは、空軍パイロットで日本に赴任していた夫リチャードと出会い、そして結婚。日本では祝福されなかった結婚。けれど、ふたりの息子に恵まれ、愛する夫と家族で励まし合い、愛を尽くし、日々を生き抜いてきた。

しかし、ユキエが突然、不治の病といわれるアルツハイマーに侵されてしまう…。愛する妻の心から、40年間築き上げてきたふたりの、そして家族の人生の記憶が少しずつ、ゆっくりと失われてゆく…。「これはあなたたちへの“ゆっくりしたお別れ”だ」と思うのよ…。」

愛する人に「スロー・グッバイ」。

松井久子監督の最新作「レオニー」を一人でも多くの人に！  
 日米合作映画「レオニー」は今年公開されます！  
 松井久子監督の第三作『レオニー』(今年公開予定)は、世界的に知られる日系アメリカ人彫刻家イサム・ノグチの母、アメリカ人女性レオニー・ギルモアの生涯を描く作品です。アメリカ人プロデューサーと松井久子監督による、日米合作での製作がすすめられました。百年前のアメリカと日本を舞台に、仕事に生き、日本人青年との恋に生き、そして出会った運命を引き受け、授かった子を独りで生み育てる女性レオニー。日米の狭間で翻弄される運命を静かに受け入れ、母として、女として深く生き抜いた生涯が、私たちに何を問いかけるのでしょうか。(マイレオニーホームページより)  
 この「レオニー」は今年公開されます。是非ともあなたも鑑賞を。

主催 マイレオニーおかやま(「レオニー」を応援するおかやまの会)

私たちのまち・岡山を考える市民のつどい実行委員会「男女平等委員会」

連絡先 岡山市北区大供1-1-1 岡山市職労気付

電話 086-232-9714 FAX 086-232-5317